

今月の表紙
龍王祭



7月20日(金)の前夜祭から、23日(月)までの4日間、鬼怒川・川治温泉で行われた龍王祭。

特設ステージでは歌謡ショーやコーラス、郷土芸能などが披露されました。また、龍王祭の最大の見どころは、威勢のいい神輿です。たくさんの提燈が飾られた万燈神輿や姫万燈神輿、そして、その素早い動きで見ている者を楽しませる女樽神輿が夜の温泉街に繰り出し、訪れた多くの方を祭りの活気で包みました。

万燈神輿を担いだ鬼祭會の会長を務める岩本浩志さん(鬼怒川温泉大原)は、「天気が少し悪いです、人出は多いです。神輿を担いだ人はみんな十分に楽しんだことと思います。自分たちが楽しまないと、祭りに来た観光客の方たちにも楽しんでもらえないですからね」と話してくれました。



8月5日(日)に例幣使街道で開催された第2回日光杉並木マラソン大会。関東近県はもちろん、全国各地から約2,500人のランナーが参加しました。

日差しが強く、厳しい暑さでしたが、コースとなつて例幣使街道は、杉の巨木が作り出す木陰で比較的涼しく、走りやすい状況でした。コースは3km、5km、10kmの3種類。参加者は沿道に詰めかけた大勢の見物客から声援を受けながら、上位入賞を狙ったり完走を目指したりするなど、思い思いのペースでゴールを目指して走りました。

鹿沼東高校2年生で陸上部に所属する池田哲生さん(土沢)は、5kmコース男子39歳以下の部で4位に入賞。「折り返してからの上り坂がきつかったですね。来年は3位以内を目指したいです」と話してくれました。

7月14日(土)、豊岡運動公園でスポーツレクリエーションフェスティバルが開かれました。多世代間の交流と一体感の醸成を目的に初めて開催され、子どもからお年寄りまで約120名が参加。人気のグラウンドゴルフから、ペタンクやスポーツチャンバラ、ユニカールといった珍しい種目まで、体育指導員に教わりながら気持ちよく汗を流しました。



日光杉並木マラソン大会

今年で56回目を迎える今市納涼祭大花火大会が8月1日(水)、大谷橋上流の大谷川河川敷で行われました。大会は午後7時30分からスタート。約1時間にわたり、5,000発の花火が夏の夜空を彩りました。また、会場には出店が軒を連ね、大勢の人でにぎわっていました。今年は、横浜を中心に活動しているロックグループLiliも友情参加。ライブを行い、大会を盛り上げていました。



今年が最後となります。来以降は、日光地域の花火大会との統合も含め、開催が検討される予定です。

日光の夏の風物詩である日光和楽踊りが、8月3日(金)に古河電工日光事業所で開催されました。天候にも恵まれ、多くの観客が本場の和楽踊りを堪能しました。午後7時、踊りの開始を告げる工場のサイレンが鳴り響くと、一斉に電飾が点灯。夜空に華やかなイルミネーションが浮かび上がり、会場からは大きな拍手と歓声が上がりました。同時にお囃子の演奏



日光の夏の風物詩である日光和楽踊りが、8月3日(金)に古河電工日光事業所で開催されました。天候にも恵まれ、多くの観客が本場の和楽踊りを堪能しました。午後7時、踊りの開始を告げる工場のサイレンが鳴り響くと、一斉に電飾が点灯。夜空に華やかなイルミネーションが浮かび上がり、会場からは大きな拍手と歓声が上がりました。同時にお囃子の演奏

が始まり、大勢の人たちが和楽池の中央に設けられた2基の櫓の周りを踊りました。次第に一般の方も踊りの輪に加わり、会場が一体となつて盛り上がりました。今年で94年を迎える日光和楽踊りに長年足を運んでいる沼尾さん夫婦(瀬川)は、「第1回のときは祖父が踊っていたんですよ。このお祭りに参加しないと夏が来た気がしませんね。今後も長く続いてほしいです」と話してくれました。

栗山ふるさとサマーウォーク



7月29日(日)、栗山ふるさとサマーウォークが開催されました。このイベントは、さわやかな山あいの空気の中を歩いてもらおうというものです。コースは湯西川(23km)、川俣・奥鬼怒(17km)、川俣・瀬戸合峡(11km)、日蔭牧場(12km)の4つが用意され、今年は4つのコースに811名が参加しました。

川俣・瀬戸合峡コースは川俣小中学校を午前9時30分にスタート。途中の川俣湖や瀬戸合峡では、美しい景色と川のせせらぎを聞きながら歩いた皆さん。約2時間かけ、元気いっぱいゴールしました。

足利市から夫婦で参加した加藤さんは、「今年で4回目の参加です。毎年楽しみにしていますよ。このコースは2回目ですが、とても気持ちいいですね。歩くことは健康にもいいし好きなので、また参加したいです」と話してくれました。



日光和楽踊り